農作業 テクニカル ダイアリー

春ニンジン

山武経済センター　営農指導担当者　富谷 公博

ヒョウタンゾウムシの発生状況調査

昨年に続き、春ニンジンで被害があるヒョウタンゾウムシの発生状況を調査しました。その結果をご報告します。

●調査内容

〈調査地区〉睦岡、日向、東金（2カ所）、千代田の4地区合計5カ所

〈調査方法〉ヒョウタンゾウムシは羽が無いため、歩いて圃場に侵入します。その性質を利用して、1圃場につき、ヒョウタンゾウムシの成虫を捕獲するトラップ（罠）を4カ所と捕獲状況が分かる看板を設置しました（写真❶）。

写真❶
ヒョウタンゾウムシ捕獲調査看板

●調査結果

結果は図❶のとおりです。今年は4月の気温が高く、調査期間を通して昨年よりも捕獲数が増加しました（総捕獲数は昨年の約3倍。写真❷）。ヒョウタンゾウムシ類が好むゴボウや落花生が前作である圃場や、そのような圃場が周辺にある場合は、捕獲数が多い傾向にありました。

●次年度の対策

露地トンネル栽培においては、被覆資材を除去するころ（4月中旬～下旬）に、圃場内に進入する成虫を対象に薬剤散布すると効果的です。被害が大きい圃場では、土中の成虫・幼虫を対象に灌注処理を併せて行いましょう（表❶参照）。

写真❷
捕獲されたヒョウタンゾウムシの成虫

ニンジンハネオレバエ対策

今年は、ニンジンハネオレバエによる食害が散見されました（写真❸）。

●発生時期：4月中旬ごろ

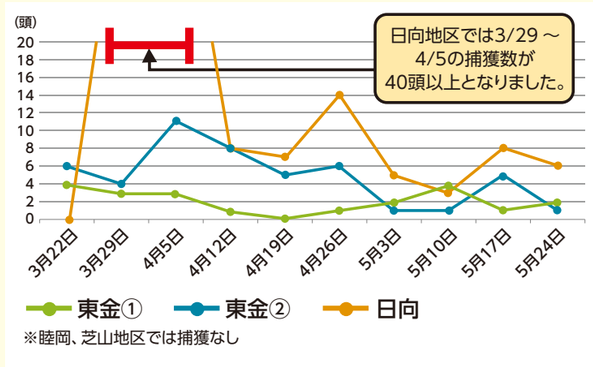
ヒョウタンゾウムシ類の成虫と同じく、トンネルを除去する時期に成虫が飛来・侵入し、土中に産卵します。孵化した幼虫がニンジンを食害します。

●対策

現在、ニンジンハネオレバエに登録のある薬剤はありません。セリ科雑草（セリ、オヤブジラミ）を好むので、圃場周辺の除草に努めましょう。

写真❸
ニンジンハネオレバエの幼虫による食害痕

図❶　ヒョウタンゾウムシ発生頭数の推移



表❶　ヒョウタンゾウムシの防除薬剤

防除時期	4月中旬～4月下旬	4月下旬～5月上旬
薬剤例	コテツフロアブル	スタークル顆粒水溶剤
	2000倍	400倍　0.4L／㎡（灌注）
	前日まで　2回以内	21日前まで　1回

※スタークル顆粒水溶剤は、トビイロヒョウタンゾウムシで登録あり。

スイカ

芝山経済センター　営農指導員　大森 秀樹

令和3年産を振り返って

今年産は、栽培期間全体を通して平年より温暖な気候となりました。しかし、2月下旬～3月下旬にかけては、低温や降雨による日照不足となりました。雌花や花粉の質は、開花2～3週間前の気候が影響するため、3月中旬～下旬の交配が順調に進まなかった圃場も見られました。その後は気温の高い日が多くなり、生育は平年より前進傾向となりました。一方で、5月下旬頃からは、うどんこ病が多く発生し、一部の圃場では収量の低下につながりました。

販売面では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響があったものの、他の果実類と競合が少なかったことから、早めの量販店への売り込みにより、昨年に引き続き、高単価な販売となりました。

次年度対策（うどんこ病対策）

●病気の特徴

はじめは3～5㎜くらいの大きさの白色円形の粉状のカビが生えます。酷くなるとカビは急激に広がり、葉のふちから褐変し、葉が枯れます。菌は空気中を飛散し、空気伝染し、水滴がなくても発病します（写真❹❺）。

●防除のポイント

育苗中から防除を行い、本圃へ病気を持ち込まないようにしましょう。苗を購入した場合も、病気が発生していないかを定植前に確認してください。

ハウスやトンネルの換気を十分に行い、風通しを良くしましょう。多発状態では薬散の効果が上がりにくいため、早期に発見し、防除を心掛けましょう。

耐性菌を生じやすいので、同系統の薬剤を避け、ローテーション散布を行ってください。薬剤防除の際は、登録内容を確認し、収穫使用前日数には注意しましょう（表❷参照）。

写真❹　スイカのうどんこ病

写真❺　スイカのうどんこ病
（葉の枯れあがり）

表❷　スイカのうどんこ病に登録のある薬剤

薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	予防	治療
アフェットフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	○	
シグナムWDG	1500～2000倍	収穫前日まで	3回以内	○	○
ショウチノスケフロアブル	2000倍	収穫前日まで	2回以内	○	○
パレード20フロアブル	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	○	○
トリフミン水和剤	3000～5000倍	収穫前日まで	5回以内	○	○
ベルクートフロアブル	1000倍	収穫前日まで	4回以内	○	○

9月の分析経過について

残留農薬分析点数：合計4点

多成分一斉分析
- 抑制トマト …… 2点
- 抑制キュウリ …… 1点
- 秋冬ネギ …… 1点
- ダイコン …… 1点
- 越冬ナス …… 1点
- ニラ …… 1点（インショップ）

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 …… 合計46点

「営農情報メール」配信中!

作柄情報、病害虫対策、青果物概況、イベント案内など、営農に役立つ最新情報をお届けします。

↓登録はこちらから（登録無料）

JA山武郡市の組合員ならどなたでも登録できます。